

令和2年11月19日

小野市議会議長 小林 千津子 様

民生地域常任委員会
委員長 高坂 純子

民生地域常任委員会所管事務調査報告書

9月定例会において、小野市議会会議規則第98条第1項の規定により、申し出をしておりました閉会中の所管事務調査を、下記のとおり実施いたしましたので、同会議規則第103条の規定に基づき調査の報告をします。

記

《所管事務調査》

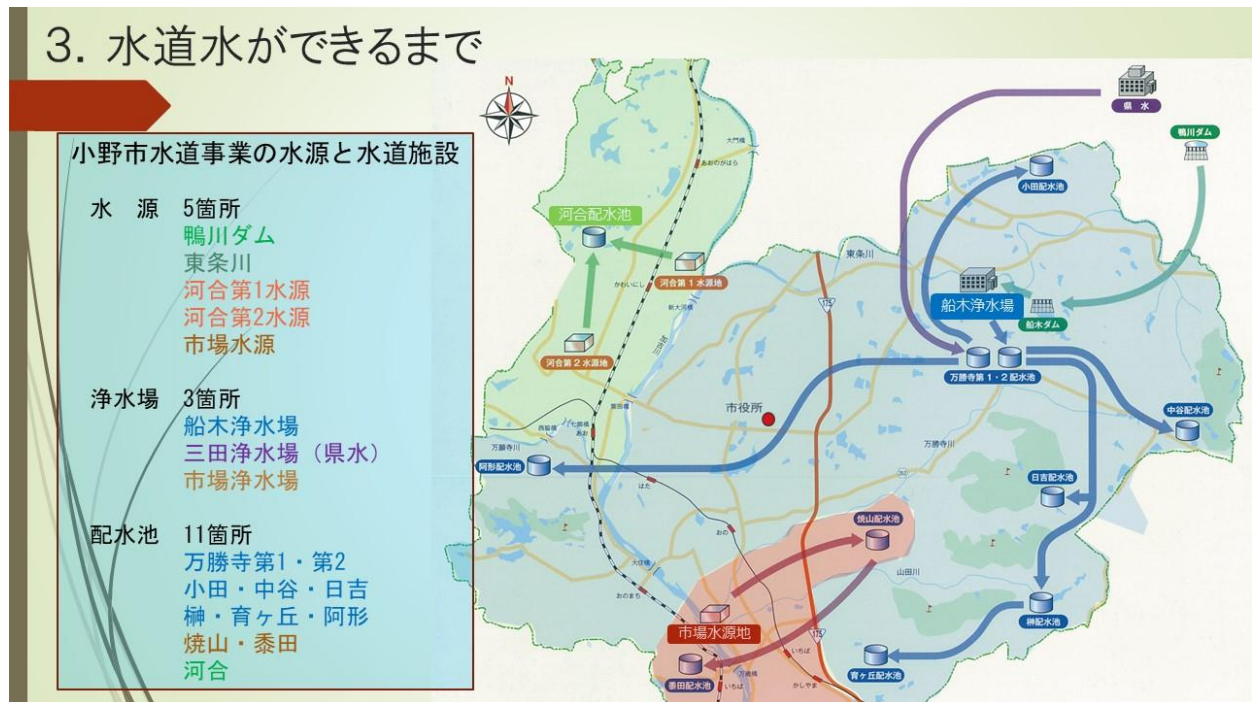
- 1 開催日時 令和2年11月13日（金）午後1時30分～午後4時34分
- 2 場 所 第2委員会室及び船木・市場浄水場、焼山・河合配水池
- 3 出席議員の氏名 高坂純子委員長 藤原貴希副委員長
久後淳司委員 山本悟朗委員
河島三奈委員 河島信行委員
岡嶋正昭委員 川名善三委員
- 4 欠席議員の氏名 な し
- 5 出席した理事者及び担当職員の氏名
〈水道部〉
奥田謙二部長、山本浩水道部課長
岸本道人水道部主幹、平野正秀水道部主査
- 6 その他の出席者 村本洋子議員、河島泉議員、平田真実議員
- 7 所管事務調査事項
(1) 小野市の水道の概要及び河合浄水場整備事業の概要について

1) 小野市の水道の概要について



☆水道水ができるまで（小野市水道事業の水源と水道施設及び給水範囲）

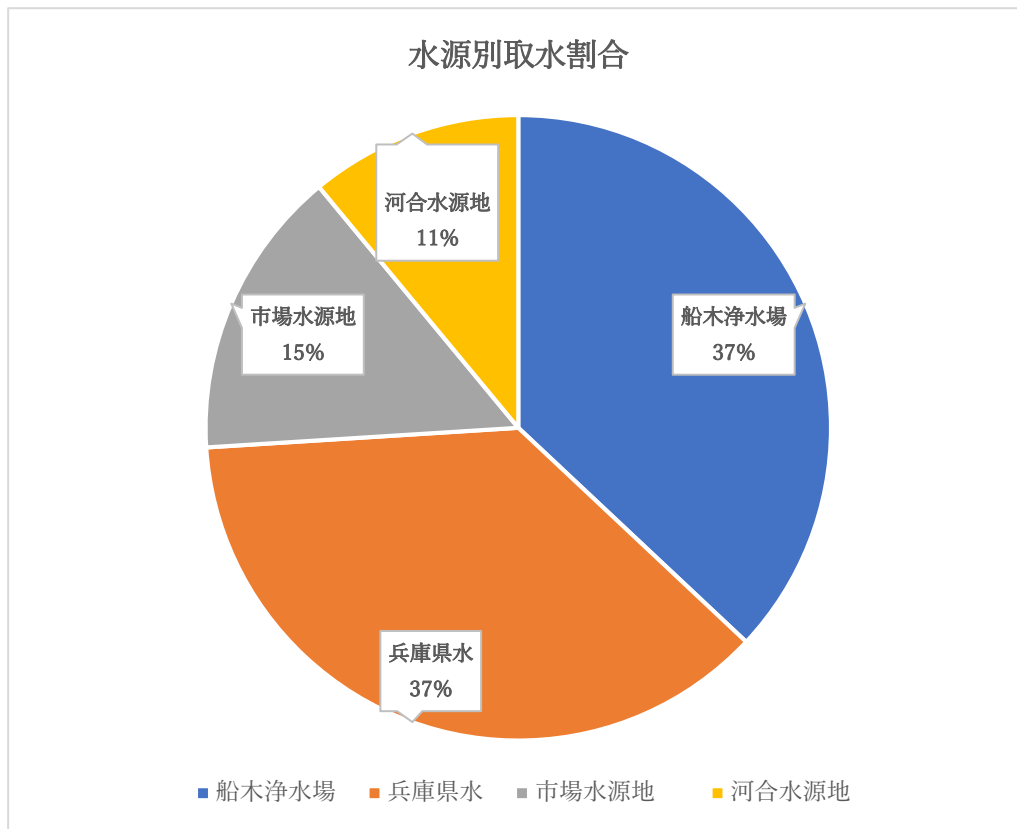
- 水源 5箇所：鴨川ダム、東条川、河合第1・第2水源、市場水源
- 浄水場 3箇所：船木浄水場、三田浄水場（県水）、市場浄水場
- 配水池 11箇所：万勝寺第1・第2、小田、中谷、日吉、榊、育が丘、阿形、焼山、黍田、河合



水道部作成資料より

☆配水量 年間 6,792,714 m³・1日平均 18,559 m³・一人1日平均 3830

☆水源別取水割合



2) 河合浄水場整備事業の概要について

・課題と対策

- ① クリプトスポリジウム等耐塩素性病原微生物による汚染の恐れあり
→ 「紫外線処理方式」採用（市場浄水場と同じ）
- ② 原水に含まれる遊離炭酸が管理目標値を超えている
→ (エアレーション) 水と空気を接触させて空中に放出
- ③ 配水管から確認されたマンガン（基準以下だが配水管に付着）
→ 除マンガン装置を設置
- ④ 既設配水池の耐震性能（現行基準に達していない）、老朽化
→ ステンレス製配水池（緊急避難弁の設置含む）

★2023年完成予定：事業経費 13億6,200万円（防衛補助4億9,000万円含む）

3) 現地視察

- ・船木浄水場（膜ろ過処理方式・資器材の老朽化も問題）
- ・焼山配水池（緊急避難弁の設置・河合配水池も同様のステンレス製で予定）
- ・市場浄水場（紫外線処理方式・浸水対策工事まもなく開始）



船木浄水場膜ろ過装置



焼山配水池ステンレス製配水池



市場浄水場紫外線処理装置



老朽化が進む河合配水池

4) 意見交換

- ・船木浄水場の膜ろ過処理方式の資器材の交換に約1億円程度必要と聞いた。処理方式は今後もこれで良いのか考える必要がある。
- ・人口推移や使用量によって浄水場からの配水量のバランスをどのように調整していくのか。

5)

所 感

浄水場や配水池の場所、仕組み、課題等について情報の共有が行われ有意義な研修会となった。

現在の河合配水池の老朽化が著しく、早急な手立てが必要と誰もが感じた。

人口減少に伴い、需要と供給のバランス、合わせて水道管の交換工事、そして広域連携と考えなくてはならない問題は多々あるが、まずは安全安心な水道水の供給を行っている水道部の仕事にお礼を申し上げたい。と同時に世界中で蛇口をひねれば安全な水が出るのは日本を含めわずか十数か国である。市民一人一人がもう少し「水」について関心を示すべきだと思ふし、「水道」をしっかりとPRすることも大事と考えた。